

やはタウンスクール2025



2025.10.2 八幡小学校地域学校協働本部 八女市立八幡小学校



6年 家庭科「ナップザックを作ろう」



6年生のやはタウンスクールは、家庭科の学習で行いました。

ミシンを用いたナップザック作りです。できあがったナップザックは修学旅行のフィールドワーク時に活用することもあり、6年生の子どもたちも一カ月後に近づいてきた修学旅行に期待をふくらませながら取り組みました。

今回は4名の参加協力をいただきましたが、6年生が5年生の時にごはんのみそ汁の調理実習で一緒に学んだ経験もあり、和気あいあいとした雰囲気の中で製作が進みました。12日、19日、22日の3日間で1枚の布だったものが少しずつ形になっていきました。参加者のみなさんのアドバイスや技術的な手助けがあったおかげで、子どもたちも袋状の布製品を作る順序や内側が見える状態で縫っていく意味を理解することができたようです。

お帰りの際に、「自分のナップザックがほしくなりました」という声もいただきました。地域の方が子どもたちと同じナップザックを作り、生活の中で使っていただくと、子どもたちとの地域での話も気軽にできるのではないかと考えました。次年度もこの企画を実行するときは、子どもたちとの「おそろい」となるような内容へと充実させていきたいと思えます。

いろんな思いのつまってできたナップザックをもって、6年生は長崎で学んでいきます。地域で6年生を見かけたら、修学旅行の話で盛り上がるかもしれませんね。

【参加者の方の感想】

○ 小学生の頃を思い出しました。「ナップザックを作ったなあ」と。大人にとっては簡単なことでも、子どもにとっては難しい時間だったようです。友達同士で作業工程を確認したり手伝ったりと、その姿は「ほほえましいな」と感じる瞬間もあり、幸せな気持ち

ちになりました。

- どうなるかなあと思いつつ、初めてのミシンでしたが思った以上にできました。自分たちが作ったナップザックでの修学旅行。楽しくなると思います。「お土産忘れんごとお願ひします」と言ったら、「カステラでいい?」と、かわいいですね。みんなの完成が楽しみです。
- 日ごとに縫い方も上手にできて、私自身喜び、一緒に学べました。お互いにゆずりあいミシンを使うことも一つの学びだと思われます。
- 今日の方が少し難しい部分もあり、みんな苦戦していました。私も少し頭をかかえてしまいましたが、一緒に考えながら前に進みましたが、それもまた楽しい時間でした。やっぱりコミュニケーションがとれると楽しさもうれしさも倍増ですね。
- 人に教えることは大変だと痛感しました。前回教えたことを覚えていてくれて、実践できていたのでもうれしく思いました。完成したナップザックを背負ってうれしそうにしている子もいて、こちらまで笑顔になりました。



今週から10月に入りました。10月です。令和7年度も半分が過ぎ、やはタウンスクールⅠ期目の活動も全ての計画を終了しました。次回、配信予定の4年生社会科の参加協力については、初回の募集で希望者がいないため、再募集を行ったところ、「困っているなら…」とたくさんの声をいただきました。最終的には8名の参加協力をいただき、これが八幡校区の強みだと改めて感じさせられました。本当にありがとうございました。「友達を連れてきます」というお話もいただき、参加者の輪がだんだん大きくなっていけばよいと期待しているところです。

10月10日には前期が終わり、14日から後期が始まります。やはタウンスクールⅡ期の実施は11月頃からになります。現在、やはタウンスクールをご存知の方から広げていただき、よろしければ公式LINEアカウントへの登録を進めてくださるとありがたいです。

今後とも八幡小学校地域学校協働活動への参加・協力をよろしくお願いします!!

【問合せ】 八女市立八幡小学校 八女市新庄385 Tel0943-22-4801

※ このおたよりをインターネットやSNSにアップロードされることは固くお断りします。

